

Dell™ 2407WFP-HC フラットパネルカラーモニターユーザーズガイド

モニターについて

[前面図](#)
[背面図](#)
[側面図](#)
[底面図](#)
[モニター仕様](#)
[ユニバーサルシリアルバス\(USB\)インターフェース](#)
[カードリーダーの仕様](#)
[フラグアンドプレイ機能](#)
[モニターのお手入れ](#)

調整可能なモニタースタンドを使用する

[スタンドの取り付け](#)
[ケーブルをまとめる](#)
[傾き、回転、高さを利用する](#)
[スタンドを外す](#)

モニターのセットアップ

[モニターを接続する](#)
[フロントパネルのボタンを活用する](#)
[OSD を使用する](#)
[最適な解像度の設定](#)
[Dell™ Soundbar \(オプション\)を使用する](#)

モニターを回転させる

[モニターの回転を変える](#)
[オペレーティングシステムにて回転の設定をする](#)




問題を解決する

[モニタ固有のトラブルシューティング](#)
[一般的な問題](#)
[ビデオに関する問題](#)
[製品固有の問題](#)
[ユニバーサルシリアルバス\(USB\)に特有の症状](#)
[Soundbar\(オプション\)の問題解決](#)
[カードリーダーのトラブルシューティング](#)

補足

[FCC特定情報](#)
[注意:安全のしおり](#)
[Dellに問い合わせ](#)

メモ、注意、警告

-  **メモ:** コンピュータシステムをより有効に利用するための大切な情報を示します。
-  **注意:** ハードウェア損傷やデータ損失の可能性を示し、この問題を回避する方法を説明します。
-  **警告:** 「警告」の内容は、物体への被害、人物への危害、または死亡の可能性を示しています。

警告には、表記方法が異なるものやアイコンがないものもあります。この場合、警告の特別な表記法が認可機関により義務づけられています。

本書に記載されている事項は事前通告なしに変更されることがあります。
© 2007 すべての著作権は Dell™ Inc にあります。

Dell™ Inc.の書面による承諾書なしに本書を複製することは、いかなる方法といえども、固く禁止します。

本書に記載の登録商標: Dell™, DELL のロゴ, Inspiron, Dell™ Precision, Dimension, OptiPlex, Latitude, PowerEdge, PowerVault, PowerApp, and Dell™ OpenManage は Dell™ Inc. の登録商標です。Microsoft と、Windows, Windows NT は Microsoft Corporation の登録商標です。Adobe は特定の司法区域で登録されている Adobe Systems 社の商標です。ENERGY STAR は U.S. Environmental Protection Agency (米国環境保護庁) の登録商標です。ENERGY STAR のパートナーとして、Dell™ Inc. は本機をエネルギー効率に関する ENERGY STAR のガイドラインに準拠させています。

本書に引用される他の登録商標や商標名はその商標や商標名を有する企業もしくは製品に所属します。Dell™ Inc. は Dell Inc. に所属しない全ての登録商標及び商標名の所有権についてはこれを放棄します。

Model 2407WFP-HC

2007年3月 改定: A01

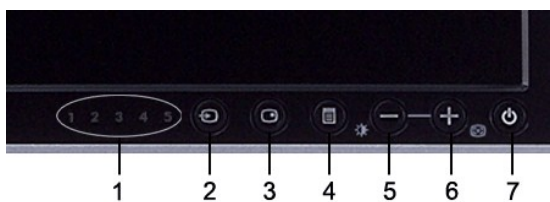
[目次へ戻る](#)

モニターについて

Dell™ 2407WFP-HC フラットパネルモニター

- [前面図](#)
- [背面図](#)
- [側面図](#)
- [底面図](#)
- [モニター仕様](#)
- [ユニバーサルシリアルバス\(USB\)インターフェース](#)
- [カードリーダーの仕様](#)
- [ブラグアンドプレイ機能](#)
- [モニターのお手入れ](#)

前面図



-
- 1 入力表示板
 - 2 入力ソースの選択
 - 3 PIP (ピクチャ・イン・ピクチャ) / PBP (ピクチャ・バイ・ピクチャ) の選択
 - 4 OSD メニュー/選択
 - 5 輝度およびコントラスト / 下ボタン (-)
 - 6 自動調節 / 上ボタン (+)
 - 7 電源ボタン(電源ライトインジケータ付き)
-

背面図

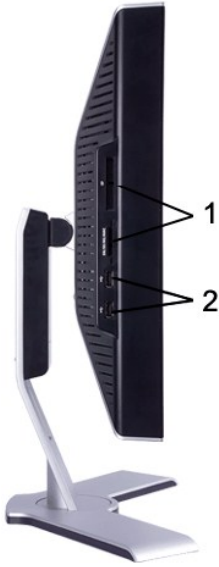


1	VESA 取り付け穴 (100mm) (同梱のベースプレートの裏側にあります)	モニタの取り付けに使用します。
2	コネクタラベル	コネクタの位置とタイプが表示されています。
3	バーコード シリアル番号ラベル	Dell テクニカルサポート部に問い合わせる必要があるときに参照してください。
4	セキュリティロック スロット	セキュリティロックはモニタを固定するために使用します。
5	モニタロック / 解除ボタン	モニタからスタンドを外します。
6	準拠規格ラベル	合格した規格がリストされています。
7	Dell サウンドバー取り付けブラケット	オプションの Dell サウンドバーを取り付けるときに使用します。
8	ロック / 解除ボタン	モニタを下に押してこのボタンを押すとモニタのロックが解除されますので、次にモニタを任意の高さに引き上げてください。
9	ケーブル整理用穴	ケーブルをホルダーにひとまとめにしておくことができます。

側面図



右側面図



左側面図

-
- 1 カードリーダー:詳細は、[カードリーダーの仕様](#)をお読みください
 - 2 USB ダウンストリームポート
-

底面図



-
- 1 AC 電源コードコネクタ
 - 2 Dell™ Soundbar 専用DC電源コネクタ
 - 3 DVI コネクタ
 - 4 VGA コネクタ
 - 5 Composite video (コンポジットビデオ) コネクタ
 - 6 S-Video コネクタ
 - 7 Component video (コンポーネントビデオ) コネクタ
 - 8 USB アップストリームポート(上りポート)
 - 9 USB ダウンストリームポート(下りポート)
-

モニター仕様

一般

モデル番号

2407WFP-HC

フラットパネル

次の表には、フラットパネル仕様が記載されています。

スクリーンタイプ	アクティブマトリクス - TFT LCD
スクリーン寸法	24.0インチ(24.0インチ可視画像サイズ)
プリセット表示領域	
水平	518.4 mm (20.4 インチ)
垂直	324.0 mm (12.7 インチ)
ドットピッチ	0.270 mm
視野角度	約 89°(上下) typ, 約 89°(左右) typ
輝度	400 cd/m ² (typ)
コントラスト比	1000:1 (typ)
表面コーティング	反射防止ハードコーティング(3H)
バックライト	6 CCFLs U-type バックライト、92%ワイドカラー全範囲
応答速度	標準6ms《ミリセカンド》(灰色から灰色)/標準16ms《ミリセカンド》(黒から白)

解像度

次の表には、推奨される解像度が記載されています。

水平スキャン範囲	30 kHz ~ 81 kHz (自動)
垂直スキャン範囲	56?Hz ~ 76 Hz, 1920 x 1200 @ 60 Hz のみ例外
最適プリセット解像度	60Hz で1920 x 1200
最大プリセット解像度	60Hz で1920 x 1200

ビデオ対応モード

ビデオ表示機能 (DVI 再生)	480p/576p/720p/1080p (HDCP 対応)
ビデオ表示機能 (コンポジット再生)	NTSC/PAL
ビデオ表示機能 (S ビデオ再生)	NTSC/PAL
ビデオ表示機能 (コンポーネント再生)	480i/480p/576i/576p/720p/1080i

プリセットモニターモード

デルでは、以下の表に記載しているすべてのプリセットモードについて、画像のサイズと中央揃えが適切に設定されることを保証しています。

モニターモード	水平 周波数 (kHz)	垂直 周波数 (Hz)	ピクセルクロック (MHz)	同期極性 (水平 / 垂直)
VGA, 720 x 400	31.5	70.1	28.3	-/+
VGA, 640 x 480	31.5	59.9	25.2	-/-
VESA, 640 x 480	37.5	75.0	31.5	-/-
VESA, 800 x 600	37.9	60.3	40.0	+/+
VESA, 800 x 600	46.9	75.0	49.5	+/+
VESA, 1024 x 768	48.4	60.0	65.0	-/-
VESA, 1024 x 768	60.0	75.0	78.8	+/+
VESA, 1152 x 864	67.5	75.0	108.0	+/+
VESA, 1280 x 1024	64.0	60.0	108.0	+/+
VESA, 1280 x 1024	80.0	75.0	135.0	+/+
VESA, 1600 x 1200	75.0	60.0	162.0	+/+
VESA, 1920 x 1200	74.0	60.0	154.0	+/-

電気

次の表には電気的仕様が記載されています。

ビデオ入力信号	アナログ RGB、0.7 V +/-5 %、入力インピーダンス 75 オーム デジタル DVI-D TMDS、各差動ラインに 600 mV、入力インピーダンス 50 オーム S-video、Y 入力電圧 1 V (p-p)、C 入力電圧 0.286 V (p-p)、入力インピーダンス 75 オーム コンポジット、1 V (p-p)、入力インピーダンス 75 オーム コンポーネント、Y、Pb、Pr はすべて 0.5-1 V (p-p)、75 Ω 入力インピーダンス
同期入力信号	別々の水平信号と垂直信号; 3.3V CMOS または 5V TTL レベル、正同期または負同期 SOG (Sync on green)
AC 入力電圧 / 周波数 / 電流	100 ~ 240 VAC/50 または 60 Hz + 3 Hz/2.0 A (最大)
突入電流	120V: 最大 40 A 240V: 最大 80 A

物理的仕様

次の表には物理的特性が記載されています。

信号ケーブルタイプ	D-Sub: 15 ピン、アナログ (取り外し可能)、出荷時はモニターに接続されています。 DVI-D: 15 ピン、デジタル (取り外し可能)、出荷時はモニターに接続されていません。 S-Video: ディスプレイに付属されていません。 コンポジット: ディスプレイに付属されていません。 コンポーネント: ディスプレイに付属されていません。
寸法 (スタンド込み):	
高さ (ポートレートボードでの最大長)	584.7 mm (23.0 インチ)
高さ (縦方向に縮小/ロック)	387.9 mm (15.3 インチ)
幅	559.7 mm (22.0 インチ)
奥行き	195.0 mm (7.7 インチ)
重量	
モニター (スタンド、ヘッド)	8.3 Kg (18.3 lb)
モニターの平面パネルのみ (VESA モード)	6.5 Kg (14.3 lb)
重量 (パッケージを含む)	11.2 Kg (24.7 lb)

環境

次の表には環境上の制限が記載されています。

気温:	
使用時	摂氏 5 ~ 35 度 (華氏 41 ~ 95 度)
非使用時	保管時: 摂氏 0 ~ 60 度 (華氏 32 ~ 140 度) 輸送時: 摂氏 -20 ~ 60 度 (華氏 -4 ~ 140 度)
湿度:	
使用時	10% ~ 80% (結露なきこと)
非使用時	保管時: 5% ~ 90% (結露なきこと) 輸送時: 5% ~ 90% (結露なきこと)
標高:	
使用時	3,657.6m (12,000 ft) 最大
非使用時	12,192 m (40,000 ft) 最大
熱放散	375.0 BTU/時 (最大) 195.0 BTU/時 (最大)

パワーマネージメントモード

お使いの PC に VESA の DPMS 準拠ディスプレイカードやソフトウェアがインストールされている場合、モニタを長時間使用しないと、自動的に省電力モードに入ります。キーボードやマウス、その他の入力デバイスを使うと、モニタは自動的に通常の動作に戻ります。

以下の表は、電力消費および自動省電力機能の信号の一覧です。

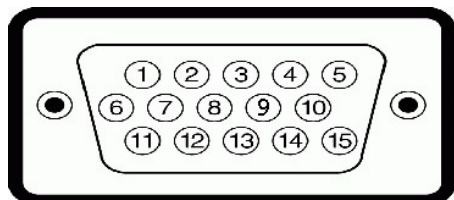
VESA モード	水平同期	垂直同期	ビデオ	電源ランプ	消費電力
通常動作	アクティブ	アクティブ	アクティブ	緑	110 W (最大)* 57 W (標準)**
アクティブオフロード	非アクティブ	非アクティブ	非表示	オレンジ	2 W 未満
電源オフ	-	-	-	オフ	1 W 未満(at 230 Va)

*Audio + USB 付き
**Audio + USB なし

*オフモードでのゼロパワー消費を実現するには、モニターからメインケーブルを取り外す必要があります。

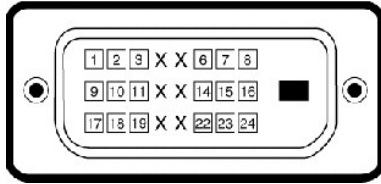
ピン配列

VGA コネクタ



ピン番号	信号ケーブルの 15 ピン側
1	ビデオ信号 - 赤
2	ビデオ信号 - 緑
3	ビデオ信号 - 青
4	GND
5	自己(診断)テスト
6	GND-赤
7	GND-緑
8	GND-青
9	PC5V/3.3V
10	GND 同期
11	GND
12	DDC データ
13	水平同期
14	垂直同期
15	DDC クロック

DVI コネクタ



ピン番号	信号ケーブルの 24 ピン側
1	TMDS RX2-
2	TMDS RX2+
3	TMDS GND
4	フローティング
5	フローティング
6	DDC クロック
7	DDC データ
8	フローティング
9	TMDS RX1-
10	TMDS RX1+
11	TMDS GND
12	フローティング
13	フローティング
14	電源 +5 V/3.3V
15	自己テスト
16	ホットプラグ検出
17	TMDS RX0-
18	TMDS RX0+
19	TMDS GND
20	フローティング
21	フローティング
22	TMDS GND
23	TMDS クロック+
24	TMDS クロック-

S-video コネクタ



ピン番号	信号ケーブルの 5 ピン側 (ケーブルは含まれていません)
1	GND
2	GND
3	ルミナス(輝度)
4	クロマ(色)
5	GND

Composite video (コンポジットビデオ) コネクタ



ルミナスコンボジットクロマ

Component video (コンポーネントビデオ)コネクタ



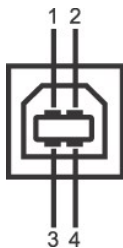
ピン番号	信号ケーブルに 3 ピン側 (ケーブルは含まれていません)
1	Y (輝度信号)
2	Pb (色差信号)
3	Pr (色差信号)

ユニバーサルシリアルバス(USB)インターフェース

本モニターは High-Speed Certified USB 2.0 インターフェースをサポートしています。*

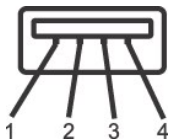
転送スピード	データ転送速度	消費電力
高速	480 Mbps	2.5W (最大、各ポート)
フル速度	12 Mbps	2.5W (最大、各ポート)
低速	1.5 Mbps	2.5W (最大、各ポート)

USB アップストリームコネクタ



ピン番号	信号ケーブルの 4 ピン側
1	DMU
2	VCC
3	DPU
4	GND

USB ダウンストリームコネクタ





ピン番号	信号ケーブルの 4 ピン側
------	---------------

1	VCC
2	DMD
3	DPD
4	GND

USB ポート:

- 1 アップストリーム(1) - 背面
- 1 ダウンストリーム(4) - 背面(2)、左側面(2)

 **メモ:** USB 2.0 機能を使用するには、2.0に対応したコンピュータが必要です。

 **メモ:** *モニターの USB インターフェースは、モニターの電源がオンのとき、または省電力モードの時のみ作動します。モニターの電源をオフしてから再びオンにすると、周辺機器が通常の機能を回復するまで、数秒かかります。

カードリーダーの仕様

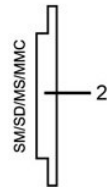
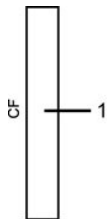
概要

- 1 Flash Memory Card Reader は、メモリーカードに情報を書き込んだり、カード上の情報を読み取ったりするための USB ストレージデバイスです。
- 1 Flash Memory Card Reader は WindowsR 2000, XP および Vista が自動的に読み取ります。
- 1 メモリーカード(スロット)がインストールされ、識別されると、個別にドライブ/ドライブ文字として表示されます。
- 1 標準的なファイル操作(コピー、削除、ドラッグアンドドロップなど)は、このドライブで行うことができます。

機能

Flash Memory Card Reader の機能は次の通りです。

- 1 Windows 2000, XP および Vista 対応
- 1 Dell は Windows 9X についてはサポートを行っておりません。
- 1 マスストレージ クラスデバイス (Windows 2000, XP および Vista 環境ではドライバは必要ありません)
- 1 USB-IF 認証
- 1 各種メモリーカード メディアに対応



次の表には、スロットが記載されており、どの種類のメモリーカードをサポートするか示されています。

スロット番号	フラッシュメモリーカードの種類
1	Compact Flash type I/II Card (CF I/II)/ USB 2.0バス接続用CFフォームファクタATAハードディスクドライブ
2	Smart Media Card (SMC) Memory Stick Card (MS) / 高速メモリスティック (HSMS) / Memory Stick Pro Card (MS PRO) / Memory Stick Duo (アダプタ付き) Secure Digital Card (SD) / Mini Secure Digital (アダプタ付き) / TransFlash カード (アダプタ付き) / Multi Media Card (MMC) / 縮小版マルチメディアカード (アダプタ付き)

全般

接続タイプ	USB 2.0高速デバイス (USBフルスピード デバイス対応)
サポートOS	Windows 2000, XP および Vista



性能

転送速度	読み取り: 480 Mb/s (最高速度)
	書き込み: 480 Mb/s (最高速度)

プラグアンドプレイ機能

このモニターは、あらゆるプラグアンドプレイ対応システムで使用できます。モニターでは、DDC(ディスプレイデータチャネル)プロトコルを使用して EDID(拡張ディスプレイ認識データ)をコンピュータシステムに自動的に供給するため、システムは自動的に設定され、モニター設定が最適化されます。ユーザーは、必要な場合は異なる設定を選択できますが、ほとんどの場合モニターの設定は自動的に行われます。

モニターのお手入れ

-  **警告:** モニターを掃除するときには [安全のしおり](#) をよく読んでその指示に従ってください
-  **警告:** モニターを掃除するときには、モニターの電源コードをコンセントから抜いてください。

- 1 本機のスクリーンは静電防止対策を施していますので、汚れを取る際には、柔らかい、清潔な布を軽く水に濡らしてクリーンを拭いてください。できれば、静電防止コーティング用の特別な布か溶液を使用してください。ベンジン、シンナー、アンモニア、表面の粗い布や圧搾空気などは使用しないでください。
- 1 プラスチック部分は軽く水で濡らした暖かい布で拭いてください。洗剤の中にはプラスチック部分にミルク状の薄膜を作るので、どのような洗剤も使用しないでください。
- 1 モニターの梱包を開けたとき白い粉がついていたら、布でふき取ってください。この白い粉はモニターの出荷の際に付着したものです。
- 1 黒色系のモニターのプラスチック部分は明るい色のモニターに比べ擦ったりすると白い引っかき痕が目立つので、丁寧に取り扱いください。
- 1 モニターの画像を最高の品質に維持するために、ダイナミックに変わるスクリーンセーバーを使用し、モニターを使用しないときには電源を切ってください。

[目次へ戻る](#)

[目次へ戻る](#)

付録:

Dell™ 2407WFP-HC フラットパネルモニター

- [FCC特定情報](#)
- [注意:安全のしおり](#)
- [Dellに問い合わせ](#)


FCC特定情報

FCC規定クラスB

本デバイスはラジオ周波エネルギーを発生、使用し、さらに放射する可能性があり、指示にしたがってインストールおよび使用しなければ、無線およびTV受信に障害を与える場合があります。この装置は、FCC規定の第15条に準じ、Class Bデジタル機器の制限に従っています。

本装置はFCC規定パート15に準拠しています。次の2つの条件にしたがって操作を行うことができます。

1. 本装置が有害な障害を発生しないこと。
2. 本装置が不具合を生じ得るような障害に対応し得ること。

 **注意:** FCC規定は、Dell Inc. の文書による許可なく変更や修正を行った場合は、本装置を操作する権利が失われることを認めています。


これらの制限は家庭内設置において障害を防ぐために設けられています。しかしながら、特定の方法で設置すれば障害を発生しないという保証は何もありません。このデバイスがラジオやTV受信装置に有害な障害を与える場合は(デバイスの電源を一度切って入れなおすことにより確認できます)、障害を取り除くために次の方法にしたがってください。

- 1 受信アンテナの向きを変える
- 1 受信装置に合わせてシステムの設置場所を変える
- 1 システムを受信装置から遠ざける
- 1 システムと受信装置が別の電源から電源供給を受けられるように、システムを別のコンセントに差し込む

必要などときには、Dell Inc. の担当者か、経験のある無線/TV技術者にお尋ねください。

次の情報は、FCC 規制に準拠し、このマニュアルでカバーするデバイスに用意されたものです。

- 1 製品名 : Dell™ 2407WFP-HC
- 1 モデル番号: Dell™ 2407WFPb
- 1 会社名:
Dell Inc.
Worldwide Regulatory Compliance & Environmental Affairs
One Dell Way
Round Rock, Texas 78682 USA
512-338-4400


 **メモ:** 規定に関する詳しい情報は、製品情報ガイドをご参照ください。

注意:安全のしおり


 **警告:** このガイドで指定されているコントロール、調整機能、または手順以外のものを使用する場合、感電、電気・機械上の危険性にさらされる恐れがあります

モニターをコンピュータに接続して使用するときは、次の使用上の注意をよく読んでそれに従ってください:

- 1 コンピュータの損傷を防止しようとするなら、コンピュータ用 電力供給のための電圧選択スイッチを該当する地域に合う交流 と合うように選択してください。
 - 115 V/60 Hz: 北米および南米の大半と、日本、韓国(220 V /60 Hzも可能)、台湾などの極東地域
 - 230 V/50 Hz: ヨーロッパ全域と、中近東、および上記以外の極東地域
- 1 また、モニターの電力規格がその国で使用している電源で動作するかどうかを常に確認してください。

 **メモ:** このモニターは AC電圧入力設定のための電圧選択スイッチがなかったら、必要ありません。“電気仕様”部分で定義された範囲内のどんな種類のAC電圧入力も自動的に受容します。


- 熱、直射日光、または極端な低温にさらされる場所でLCDモニターを保管または使用しないでください。
- 大きな温度差がある場所でのLCDモニターの移動は避けてください。
- LCDモニターを激しい振動や強い衝撃にさらさないでください。例えば、LCDモニターを車のトランクに置かないでください。
- LCDモニターを、高い湿度にさらされる場所や埃っぽい環境で保管または使用しないでください。
- 水やその他の液体をLCDモニターの上または内部にこぼさないでください。
- フラットパネルモニターは、室温状態で保管してください。極端な低温または高温状態は、ディスプレイの液晶に悪影響をおよぼします。
- モニターの隙間には絶対に金属類を挿入しないでください。感電の危険が生ずる恐れがあります。


- 感電の危険性を避けるため、モニターの内側には絶対に手を触れないでください。モニターケースを開くことのできるのは、技術資格のある者に限られています。
- 電源コードが破損しているときは、モニターを絶対に使用しないでください。電源コードの上に物を置かないようにして下さい。また、人がつまずくような場所に電源コードを設置しない様、注意して下さい。
- モニターのコンセントを抜くときには、コードではなく必ずプラグ部分をつかんで抜いてください。
- モニターキャビネットの隙間は換気用のものです。加熱を防ぐために、これらの隙間をふさいだり、覆ったりしないでください。また、モニターをベッドやソファ、カーペットなどの柔らかい物の上に置いて使用しないでください。そのような物の上での使用は、キャビネット底面の換気用の隙間を塞ぐ恐れがあります。本棚等の閉ざされたスペースにモニターを置くときは、換気が十分に行われるよう気をつけて下さい。
- モニターを設置する時は湿度が低く、ほこりの少ない場所に設置してください。湿気の多い地下室やほこりの多い通路などへの設置は避けてください。
- モニターを雨にさらしたり、水の近く(台所、スイミングプールの側など)で使用したりしないでください。誤ってモニターを濡らしてしまったときは、ただちにプラグを抜いて正規のサービス業者に連絡してください。必要によっては濡った布でモニターを拭くことができますが、はじめにモニターのプラグを抜いてからにしてください。
- モニターは固い面の上に置き、取り扱いに注意してください。画面はガラス製なので、落としたり物にぶついたりすると破損する恐れがあります。
- コンセントの近くにモニターを設置するようにしてください。
- モニターが正常に作動しない場合、特にモニターから異常な音や臭いがある場合は、すぐにモニターのプラグを抜き、正規のサービス業者またはサービスセンターに連絡してください。
- モニターの後面のカバーをはずさないでください。感電する恐れがあります。カバーを外す作業は、技術資格のある者に限られています。
- 高温での使用は問題を引き起こす原因となります。モニターは直射日光を避けて使用し、ヒーターやストーブ、暖炉などの熱器具から離して使用して下さい。
- モニターを長期間使用しない場合は、モニターのプラグを抜いてください。
- お手入れや点検修理などを行う前には必ずコンセントからモニターのプラグを抜いてください。
-  本製品内部のHg Lamp(s)には水銀が含まれているため、地方自治体、州または連邦法に仕上がってリサイクルまたは廃棄する必要があります。詳しい情報については、www.dell.com/hg をご覧になるか、<http://www.eiae.org> をご参照の上、電話業界アライアンスにお問い合わせください。

Dellに問い合わせ


Dell社にはインターネットおよび電話にてお問い合わせいただけます：

- 1 www.dell.com/jp
- 1 ウェブページからサポートを受けるには、support.dell.com (テクニカルサポート) をご覧ください。
- 1 ウェブページから世界各地のサポートを受ける場合、ページ下の [国 / 地域を選択する] メニューを使うか、下表に記載のウェブアドレスを参照してください。

 **注：**フリーコール番号は、記載されている国でのみ利用できます。

 **注：**国によっては、Dell™ XPS™ コンピュータ専用サポートの電話番号が、参加国に記載の番号とは別の場合があります。XPS コンピュータ専用番号が記載されていない場合、記載のサポート用電話番号から、Dell 社にお問い合わせいただければ、担当部署におつなぎします。

- 1 電話でのお問い合わせにつきましては、下表の電話番号とコードをお使いください。国際電話のかけ方については、国内または国際電話会社にお問い合わせください。

 **注：**提供された連絡先情報は、このドキュメントが印刷された時点で正しいものとみなされ、予告なしに変更することがあります。

国(市) 国際電話アクセス コード 国番号	部署名またはサービス地域、 ウェブサイトおよび E-メールアドレス	市内番号 フリーダイヤル
日本(川崎)	Web サイト: support.jp.dell.com	
国際電話アクセスコード: 001	テクニカルサポート(海外から)(サーバー)	フリーダイヤル: 0120-198-498
国番号: 81	テクニカルサポート(サーバー)	81-44-556-4162
市外局番: 44	テクニカルサポート(Dimension™ および Inspiron™)	フリーダイヤル: 0120-198-226
	テクニカルサポート(海外から)(Dimension™ および Inspiron™)	81-44-520-1435
	テクニカルサポート(Dell Precision™, OptiPlex™, および Latitude™)	フリーダイヤル: 0120-198-433
	テクニカルサポート(海外から)(Dell Precision™, OptiPlex™, および Latitude™)	81-44-556-3894
	テクニカルサポート(PDA, プロジェクター, プリンター, ルーター)	フリーダイヤル: 0120-981-690
	テクニカルサポート(海外から)(PDA, プロジェクター, プリンター, ルーター)	81-44-556-3468
	Fax情報サービス	044-556-3490
	24時間お届け予定案内電話サービス	044-556-3801
	カスタマーケア	044-556-4240
	ビジネスセールス本部(従業員数400人未満)	044-556-1465
	法人営業本部(従業員数400人以上)	044-556-3433

官公庁 / 研究・教育機関 / 医療機関セールス	044-556-5963
デルグローバルジャパン	044-556-3469
個人のお客様	044-556-1760
代表	044-556-4300

[目次へ戻る](#)


[目次に戻る](#)

モニターのセットアップ

Dell™ 2407WFP-HCフラットパネルモニター

Dell™のデスクトップコンピュータの使用で、インターネットの接続がある場合

1. デスクトップ上で右クリックし、Properties(プロパティ)を選択します。
2. Settings(設定)タブを選択します。
3. Windows XP を使用している場合は、Adapter (アダプター)をクリックし、Advanced(アドバンス)を選択します。
4. ウィンドウの最上端の記述を見て、グラフィックカードのベンダーを確認します。(例えば NVIDIA, ATI, Intel)。
5. 各グラフィックカードのベンダーにより次の手順に従ってください。
 - ATI
 1. [CDのATIフォルダーを選択します](#)(RADEON と RAGE ファミリーのみ; モバイルと FireGL プラットホーム以外)
 2. [ダブルクリックすると、インストールを開始します。](#)
 3. インストールを完了したら、もう一度解像度を 1920x1200 に設定してみます。
 - NVidia
 1. [CDのNVidiaフォルダーを選択します](#) (GEFORCE と TNT2 ファミリーのみ; モバイルと QUADRO チップセット以外)
 2. [ダブルクリックすると、インストールを開始します。](#)
 3. インストールを完了したら、もう一度解像度を 1920x1200 に設定してみます。

 **メモ:**もし解像度を1920x1200に設定できない場合は、解像度をサポートできるグラフィックアダプターを求める為に、Dell™に連絡してください。

[目次に戻る](#)


[目次に戻る](#)

モニターのセットアップ

Dell™ 2407WFP-HC フラットパネルモニター

Dell™のデスクトップコンピュータ、または、Dell™のポータブルコンピュータの使用で、インターネットの接続がある場合

1. <http://support.dell.com> を訪問し、サービスタグを入力し、画像カードに最新のドライバーをダウンロードします。
2. インストールを完了したら、もう一度解像度を **1920x1200** に設定してみます。

 **メモ:** もし解像度を1920x1200に設定できない場合は、解像度をサポートできるグラフィックアダプターを求める為に、Dell™に連絡してください。

[目次に戻る](#)


[目次に戻る](#)

モニターのセットアップ

Dell™ 2407WFP-HCフラットパネルモニター

Dell™ 以外のデスクトップ、ポータブル コンピュータ、グラフィックカードの場合

1. デスクトップ上で右クリックし、Properties(プロパティ)を選択します。
2. Settings(設定)タブを選択します。
3. Advanced(アドバンスド)を選択します。
4. ウィンドウの最上端の記述を見て、グラフィックカードのベンダーを確認します。(例えば、NVIDIA, ATI, Intel)。
5. グラフィックカードの各ベンダーのウェブサイトで、最新のドライバーをダウンロードします (例えば、<http://www.ATI.com>, <http://www.NVIDIA.com>)。
6. インストールを完了したら、もう一度解像度を **1920x1200** に設定してみます。

 **メモ:** もし解像度を1920x1200に設定できない場合は、コンピュータのメーカーと連絡してください。または、1920x1200の解像度をサポートできるグラフィックアダプターを購入してください。

[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

モニターのセットアップ

Dell™ 2407WFP-HC フラットパネルモニター

解像度を1920x1200にセットするために、重要な説明とグラフィックドライバー(最適の)

Microsoft WindowsR を使用する場合は、次の手順で、解像度を1920x1200にセットします。

1. デスクトップ上で右クリックし、Properties(プロパティ)を選択します。
2. Settings(設定)タブを選択します。
3. マウスの左ボタンを押すと、画面上のスライダーバーを右に移動して、スクリーンの解像度を1920x1200に設定します。
4. OKをクリックします。

オプションに1920x1200がない場合は、画像ドライバーをアップデートする必要があります。下記の記述から、使用しているコンピュータの状況を選択し、指示に従ってください:

1: [Dell™のデスクトップコンピュータの使用で、インターネットの接続がない場合](#)

2: [Dell™のデスクトップコンピュータ、または、Dell™のポータブルコンピュータの使用で、インターネットの接続がある場合](#)

3: [Dell™以外のデスクトップ、ポータブル コンピュータ、グラフィックカードの場合](#)

[目次に戻る](#)

Dell™ 2407WFP-HC フラットパネルモニター

- [ユーザーズガイド](#)
- [解像度を1920x1200にセットするために、重要な説明とグラフィックドライバー\(最適な\)](#)

本書に記載されている事項は事前通告なしに変更されることがあります。
© 2007 すべての著作権は Dell™ Inc にあります。

Dell™ Inc.の書面による承諾書なしに本書を複製することは、いかなる方法といえども、固く禁止します。

本書に記載の登録商標: Dell™, DELL のロゴ, Inspiron, Dell™ Precision, Dimension, OptiPlex, Latitude, PowerEdge, PowerVault, PowerApp, and Dell™ OpenManage は Dell™ Inc. の登録商標です。Microsoft と Windows, Windows NT は Microsoft Corporation の登録商標です。Adobe は特定の司法区域で登録されている Adobe Systems 社の商標です。ENERGY STAR は U.S. Environmental Protection Agency (米国環境保護庁) の登録商標です。ENERGY STAR のパートナーとして、Dell™ Inc. は本機をエネルギー効率に関する ENERGY STAR のガイドラインに準拠させています。

本書に引用される他の登録商標や商標名はその商標や商標名を有する企業もしくは製品に所属します。Dell™ Inc は Dell Inc に所属しない全ての登録商標及び商標名の所有権についてはこれを放棄します。

Model 2407WFP-HC

2007年3月 改定 A01

[目次へ戻る](#)

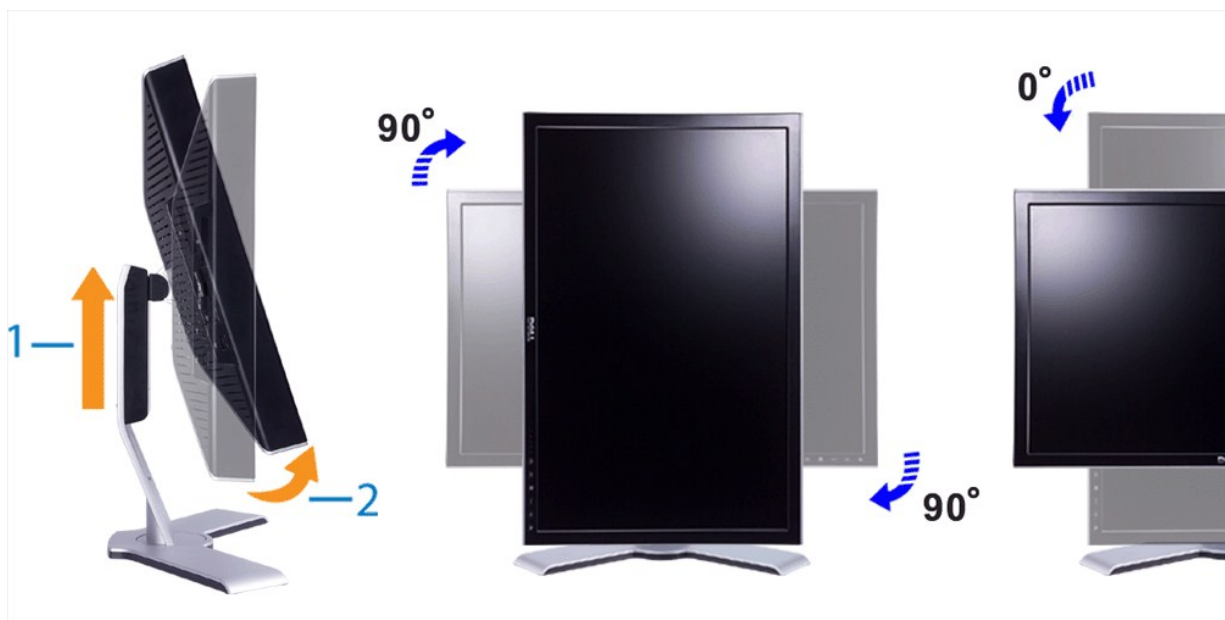
モニターを回転させる

Dell™ 2407WFP-HC フラットパネルモニター

- [モニターの回転を変える](#)
- [オペレーティングシステムにて回転の設定をする](#)

モニターの回転を変える

モニターを回転させる前に、モニタの下端部分が当たらないようにモニタを完全に縦方向に引き伸ばし([縦に伸ばす](#))、さらに完全に上に傾けて([傾き](#))ください。



メモ: Dell™ のコンピュータで「ディスプレイの回転」機能(横長画面対縦長画面)をご利用になるには最新の画像用ドライバー(モニターには含まれていません)が必要です。support.dell.comからgraphics driver(画像用ドライバー)をダウンロードし、最新のドライバーアップデート情報「Video Driver(ビデオドライバー)」の「ダウンロード」の項目を参照してください。

メモ: 「縦長の画面モード」ではグラフィック・インテンシブ・アプリケーション(3Dのゲームなど)で性能劣化がみられます。

オペレーティングシステムにて回転の設定をする

モニターを回転させて使用する場合、オペレーティングシステムにて次の手順を踏んでください。

メモ: モニターをDell以外のコンピュータでご使用の場合、画像ドライバーのWebサイトを訪問するか、コンピュータメーカーのWebサイトでオペレーティングシステムの[回転の設定](#)に関する情報を入手してください。

1. デスクトップ上で右クリックし、次にProperties(プロパティ)をクリックします。
2. Settings(設定)タブを選択し、Advanced(アドバンスド)をクリックします。
3. ATIの場合は、Rotation(ローテーション)タブを選択し、ご希望の回転を設定します。
nVidiaの場合には、左の列の選択NVRotatenにあるVidia をクリックし、ご希望の回転を選択します。
Intelの場合には、Intelの画像タブを選択し、Graphic Propertiesをクリックし、Rotationタブを選択し、次にご希望の回転を設定します。

メモ: 回転のオプションが見つからない場合や、正しく機能しない場合には、support.dell.com を訪問し、グラフィックカードの最新ドライバーをダウンロードしてください。

[目次へ戻る](#)

[目次に戻る](#)

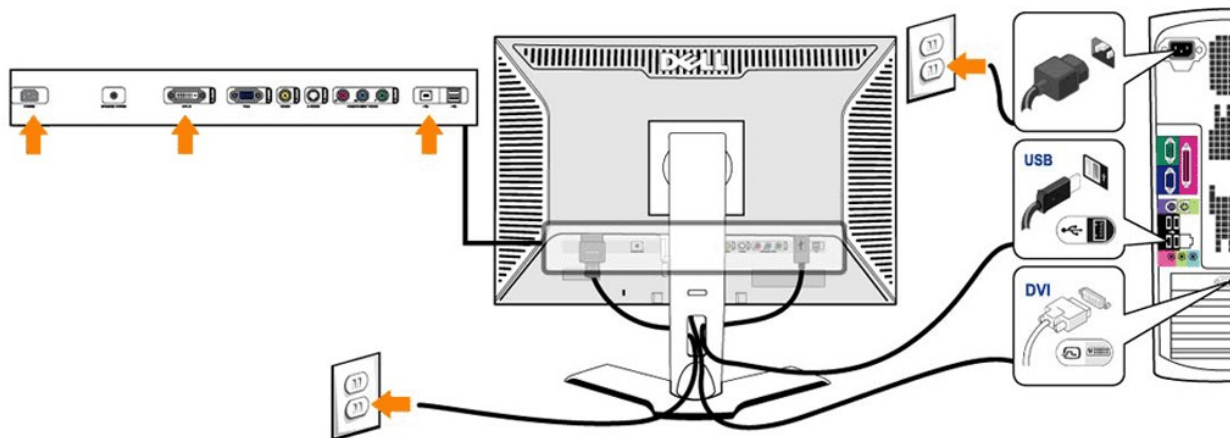
モニターのセットアップ

Dell™ 2407WFP-1C フラットパネルモニター

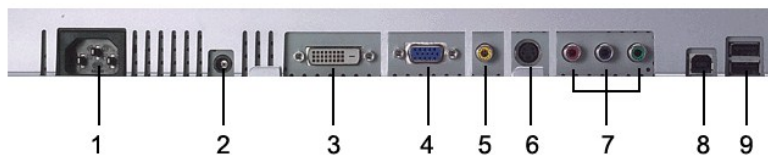
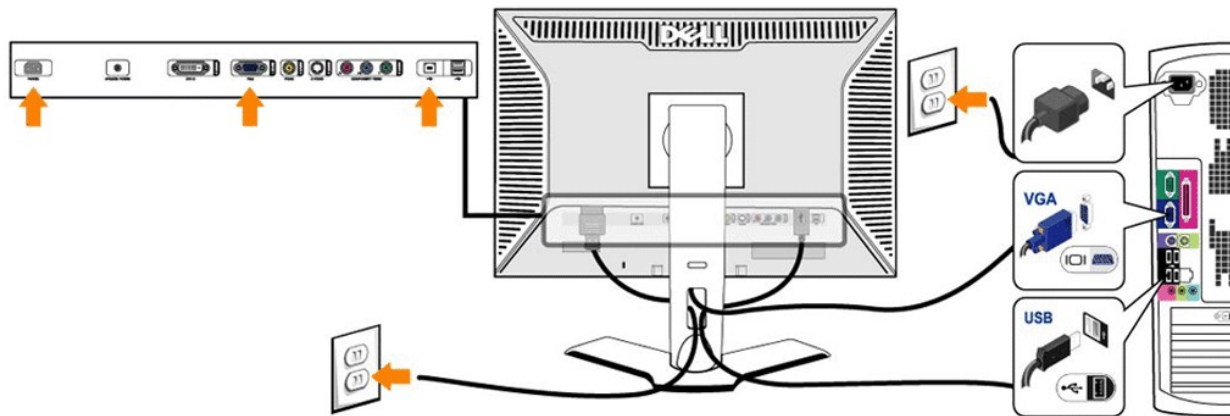
- [モニターを接続する](#)
- [フロントパネルのボタンを活用する](#)
- [OSDを使用する](#)
- [Dell™ Soundbar \(オプション\)を使用する](#)

モニターを接続する

⚠ **警告:** この章の作業を始める前に、[安全のしおり](#)に [ために](#) に従ってください。



or



- 2 Dell™ Soundbar 専用DC電源コネクタ
- 3 DVI コネクタ
- 4 VGA コネクタ
- 5 Composite video (コンポジットビデオ) コネクタ
- 6 S-Video コネクタ
- 7 Component video (コンポーネントビデオ) コネクタ
- 8 USB アップストリームポート(上りポート)
- 9 USB ダウンストリームポート(下りポート)

モニタをコンピュータに接続するには、次の手順/指示にしたがってください。

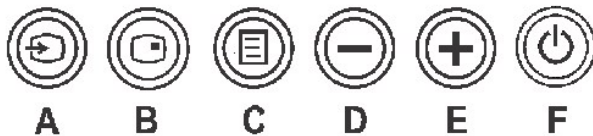
- 1 コンピューターの電源を切り、電源ケーブルのプラグをコンセントから抜きます。
- 1 白(デジタルDVI-D)または青(アナログVGA)ディスプレイのコネクターケーブルをコンピュータの後ろにある一致するビデオポートに接続します。1台のPCに2本のケーブルを使わないでください。2本のケーブルを使用できるのは、適切なビデオシステムを使用する他の2台のPCに接続する場合だけです。(グラフィックは説明のためだけのものです。システムの外観は違うこともあります。)
- 1 アップストリーム USB ポート(支給されているケーブル)をコンピュータの適切な USB ポートにつなげます。
- 1 USB の周辺機器をモニターにあるダウンストリーム USB ポート(背面または側面)につなげます。(詳細については、[背面図](#) または [側面図](#) を参照のこと。)
- 1 コンピューターとモニターの電源コードを近くにあるコンセントに差し込みます。
- 1 コンピューターとモニターの電源を入れます。
- 1 モニターに画像が表示されれば、設定作業は完了です。画像が表示されない場合は、[問題解決](#)を参照してください。
- 1 モニタースタンドのケーブルホルダーにケーブルを収納します。

メモ: お使いの PC が、「デジタル式 DVI-D」ビデオ用の接続をサポートしていない場合、接続しないままにすることができ、またモニターの背面から取り除くこともできます。


メモ: お使いのコンピューターにすでにつながっている USB の周辺装置については、モニターへの USB 接続を変更する必要がありません。

フロントパネルのボタンを活用する

表示画像の特性を調整するには、モニタ前面の各コントロールボタンを使用します。コントロールボタンを使用するときには、画面表示システム(OSD)に変更中の数値が表示されます。




<p>A</p>  <p>入カソースの選択</p>	<p>[入力信号の選択]ボタンを使ってモニタに接続するビデオ信号を5種類の中から選択してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. VGA 入力 2. DVI-D 入力 3. S-Video 入力 4. Composite video 入力 5. Component video 入力 <p>入力を切り替えていくと、現在選択されている入力ソースを示す次のようなメッセージが表示されます。画像が表示されるまで1、2秒かかります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>VGA </p> </div> <div style="font-size: 20px;">または</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>DVI - D </p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>S-Video </p> </div> <div style="font-size: 20px;">または</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>Composite </p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100%; margin-top: 10px;"> <p>Component </p> </div> <p>VGA か DVI-D 入力を選択されており、VGA ケーブルと DVI-D ケーブルの両方が接続されている場合は、下図のような自由に動かせるダイアログボックスが表示されます。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p> VGA ケーブルなし </p> </div> <div style="font-size: 20px;">または</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p> DVI - D ケーブルなし </p> </div> </div> <p>S-Video か Composite 入力のどちらかが選択されており、両ケーブルの両方が接続されているか、ビデオソースがオフになっている場合は、画像は表示されず、いずれかのボタンを押すと(電源ボタン以外)、次のようなメッセージが表示されます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin-top: 10px; background-color: #1a3d54; color: white;"> <p>ビデオからの信号なし。 モニターの Input ボタンを押すと、他の入力を切り替える。 初期設定にリセットします</p> </div>
--	--

B		<p>このボタンはPIP (Picture-in-Picture)/PBP (Picture-by-Picture) モードの調整を行います。</p> <p>このボタンを続けて押すと、モニタのモードを OFF (オフ)-->PIP-->PBP の順番で切り替えます。選択したモードによって、次のメッセージが表示されます。</p> <div style="text-align: center;">  </div>
C	 OSD メニュー/選択	<p>メニュー ボタンは、オンスクリーンディスプレイ(OSD)を開いたり、メニューやサブメニューを閉じたり、OSD を閉じたりするのに使用します。「メニューシステ ム」のコントロールメニューを直接表示する場合に使用します。</p>
D	 輝度/コントラストホットキ	<p>このボタンを使用すると、「輝度」および「コントラスト」コントロールメニューに直接アクセスできます。</p>
D, E	 下ボタン (-) と上ボタン (+)	<p>-ボタン、+ボタン これらのボタンは、OSD で設定を調整(範囲を増加 / 減少)する場合に使用します。</p>
E	 自動調整	<p>このボタンを使って、自動設定および調整メニューを有効にします。モニターが電流入力を自己調整するときに、黒スクリーン上に次のダイアログボックスが表示され</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>自動調整を使って、モニターが入力ビデオ信号に対して自己調整できます。自動調整を使った後、画像設定の下でピクセルクロック(粗い)、フェーズ(微調整)コンをを使って、モニターをさらに調整できます。</p> <p>メモ: 有効ビデオ入力信号または付属ケーブルがない状態でボタンを押した場合、自動調整機能は使用できません。</p>
F	 電源ボタン(電源ライトインジケータ付き)	<p>電源インジケータは緑色に点灯します。この LED が橙色に点灯した場合、モニタは DPMS パワーセーブモードになっています。</p> <p>電源ボタンを押すと、モニタの電源がオンまたはオフになります。</p>

OSDの使い方

メニューシステムの表示

 **メモ:** 設定を変更した後、別のメニューに移動するかOSDメニューを終了すると、モニターは自動的にこれらの変更内容を保存します。設定を変更した後、しばらくして OSD メニューが消えてしまった場合も変更内容は保存されます。

1. [メニュー]ボタンを押すと、OSD メニューが起動してメインメニューが開きます。

アナログ(VGA)入力のメインメニュー



または












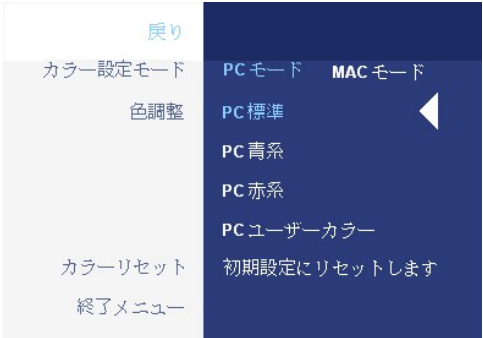

非アナログ(非VGA)入力のメインメニュー



注意: [AUTO ADJUST (自動調整)]はアナログ (VGA)コネクタを使用しなければ有効になりません。

- 設定オプションを移動するには、とボタンを使います。あるアイコンから別のアイコンへ移動するとオプション名がハイライト表示されます。設定可能なオプションについては、表をご覧ください。
- [メニュー]ボタンを1回押すとハイライトされたオプションが有効になります。
- 任意のパラメータを選択するには と ボタンを使います。
- 変更を行うには、[メニュー]を押してスライダーを表示し、メニューのインジケータにしたがって と ボタンをお使いください。
- メインメニューに戻るには [Back (戻り)]を選択し、OSD メニューを終了するには[Exit (終了)]を選択します。

アイコン	メニューとサブメニュー	説明
	EXIT(終了)	メインメニューを終了します。
	BRIGHTNESS & CONTRAST (輝度とコントラスト)	<p>このメニューは輝度/コントラスト調整を有効にします。</p>  <p>Back(戻り) を押すと、メインメニューに戻ります。</p> <p>Brightness (輝度) [輝度]はバックライトの明るさを調整します。 ボタンを押すと輝度を高め、 ボタンを押すと輝度を下げます(最低 0 ~ 最高 100)。</p> <p>Contrast (コントラスト) まず[輝度]を調整し、その後さらに調整が必要な場合のみ[コントラスト]を調整してください。 ボタンを押すとコントラストを上げ、 ボタンを押すとコントラストを下げます(最低 0 ~ 最高 100)。 コントラスト機能はモニタスクリーン上の位部分と明るい部分の差を調整します。</p> <p>Exit Menu (終了メニュー) OSD メインメニューを終了するには、 を押します。</p>
	AUTO ADJUST (自動調整)	<p>コンピュータはスタートアップ時にモニタを認識しますが、自動調整機能を使用することによって特定の設定を使用できるようにディスプレイ設定を最適化</p>  <p>メモ:ほとんどの場合、自動調整機能を使用すると選択した設定で最高の画像を実現します。</p> <p>メモ:[AUTO ADJUST (自動調整)]はアナログ (VGA)コネクタを使用しなければ有効になりません。</p>
	INPUT SOURCE (入力ソース)	[入力信号 (入力ソース)]メニューはモニタに接続するビデオ信号を選択するためのメニューです。

	 <p>戻り</p> <p>VGA</p> <p>DVI-D</p> <p>S-Video</p> <p>Composite</p> <p>入力を探します</p> <p>終了メニュー</p>	<p>Back(戻り)  を押すと、メインメニューに戻ります。</p> <p>VGA アナログ(VGA)コネクタを使用している場合はVGA入力を選択してください。 を押して VGA 入力ソースを選択します。</p> <p>DVI-D デジタル(DVI)コネクタを使用している場合は DVI-D 入力を選択してください。 を押して DVI 入力ソースを選択します。</p> <p>S-Video S-Video コネクタを使用している場合は S-Video 入力を選択してください。 を押して S ビデオ入力ソースを選択します。</p> <p>Composite Composite ビデオコネクタを使用している場合はコンポジットビデオ入力を選択してください。 を押してコンポジット入力ソースを選択します。</p> <p>Component (コンポーネント) コンポーネントビデオコネクタを使用している場合はコンポーネントビデオ入力を選択してください。 を押してコンポーネント入力ソースを選択します。</p> <p>Scan for Sources (入力を探します)  を押すと有効な入力信号を検索できます。</p> <p>Exit Menu (終了メニュー) OSD メインメニューを終了するには、 を押します。</p>
	<p>COLOR SETTINGS (カラー設定)</p>	<p>[Color Settings (カラー設定)]は色設定モードと色温度を調整します。 VGA/DVI-D とビデオ入力のカラー設定サブメニューは異なります。</p> <p>VGA/DVI-D 入力のカラー設定</p>  <p>戻り</p> <p>カラー設定モード PC モード MAC モード</p> <p>色調整 PC 標準 PC 青系 PC 赤系 PC ユーザーカラー</p> <p>カラーリセット 初期設定にリセットします</p> <p>終了メニュー</p> <p> を押すと、メインメニューに戻ります。</p> <p>PC と Mac ではカラーモードが異なります。</p> <p>Back(戻り) PC Blue (PC 青系): 青みがかった色合いにします。このカラー設定はテキストベースのアプリケーションでよく使用されます(スプレッドシート、ログイタなど)。</p>

**Color Settings Mode
(カラー設定モード)
(VGA/DVI-D)**

PC Red (PC 赤系): 赤みがかった色合いにします。このカラー設定はカラーを強調するアプリケーションでよく使用されます(フォトイメージ編集、マルチメディアなど)。

PC Custom (PCユーザーカラー): プラスボタンとマイナスボタンを使って3色(R、G、B)をそれぞれ個別に1桁ずつ(0から100まで)調整することができます。

**Color Adjustment
(色調整)**

メモ: 「色温度」とは画像の色(赤/緑/青)を「暖かさ」で測定したものです。2つのプリセット(青と赤)があり、それぞれ青と赤を強調します。それぞれを選択プリセットが適切かを見るか、「Custom Color (ユーザーカラー)」を使ってカラー設定をカスタマイズしてください。

ビデオ/DVI-HD入力のカラー設定サブメニュー



PC RGB と HD YPbPr で別の色域を実現します (HD YPbPr は DVI で HD ビデオを再生するのに適しており、PC RGB は DVI で通常の PC グラフィックに適しています)。

**Color Format
(カラーフォーマット)
(ビデオ/DVI-HD)**

モニターのカラー設定を工場出荷時の状態に戻します。

**Color Reset
(カラーリセット)**

OSD メインメニューを終了するには、**ESC** を押します。

**Exit Menu
(終了メニュー)**



**IMAGE MODES
(画像モード)**

用途によって3種類のイメージモードの中から選択できます。

VGA/DVI-D 入力用イメージモードのサブメニュー



ビデオ入力用イメージモードのサブメニュー



または

メモ: イメージモードは VGA/DVI-D とビデオ入力によって異なります。

Back (戻り)

ESC を押すと、メインメニューに戻ります。

VGA/DVI-D 入力

**Desktop Mode
(デスクトップモード)**

デスクトップアプリケーションに適しているモードです。

**Multimedia Mode
(マルチメディアモード)**

ビデオ再生などのマルチメディアアプリケーションに適しているモードです。

**Gaming Mode
(ゲームモード)**

ゲームアプリケーションに適しているモードです。

ビデオ入力





Theater Mode
(劇場モード)

ムービー再生に適しているモードです。



Sports Mode
(スポーツモード)

スポーツのシーンを表示するのに適しているモードです。



Nature Mode
(自然色モード)

自然のシーンを表示するのに適しているモードです。

Exit Menu
(終了メニュー)

OSD メインメニューを終了するには、を押します。



DISPLAY SETTINGS
(ディスプレイ設定)

Back(戻り)

を押すと、メインメニューに戻ります。

Wide Mode
(ワイドモード)

画像の表示比率を 1:1、縦横比、全画面のいずれかに調整します。

メモ: 最適なプリセット解像度 1920 x 1200 の場合は、ワイドモード調整は必要ありません。

H. Position
(水平位置)

画像を左右に調整するには、かボタンを使用します。最低は 0 (-) です。最高は 100 (+) です。

V. Position
(垂直位置)

画像を上下に調整するには、かボタンを使用します。最低は 0 (-) です。最高は 100 (+) です。

Sharpness
(シャープネス)

この機能は画像をシャープまたはソフトにします。かボタンを使ってシャープネスを 0 から 100 までの範囲で調整してください。

Zoom
(ズーム)

Zoom (ズーム)機能は特定のエリアを拡大表示するときに使用します。

ズームインまたはズームアウトするには、とキーを使用します。

Horizontal Pan
(水平パン)

ズームインした後は、縦横パン機能を実行するとそれぞれ画像を左右または上下に拡大します。

画像を左右に調整するには、かボタンを使用します。最低は 0 (-) です。最高は 100 (+) です。

Vertical Pan
(垂直パン)

画像を上下に調整するには、かボタンを使用します。最低は 0 (-) です。最高は 100 (+) です。

Pixel Clock
(周波数)

Phase (フェーズ)とPixel Clock (周波数)設定は、モニターを使用環境に合わせて調整することができます。これらの設定は[Image Settings (画
メインOSD メニューから行うことができます。

とボタンを使って最高の画質になるように調整してください。

Phase
(フェーズ)



フェーズ調整を行っても満足のいく結果が得られない場合は、Pixel Clock (周波数) (おおまかな調整)調整を行った後で再びフェーズ(細かい調整)。


メモ: Pixel Clock (周波数)と Phase (フェーズ)調整は VGA 入力でしか実行できません。




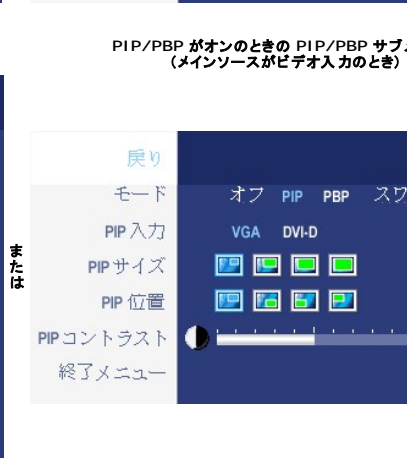
Audio Option
(オーディオ選択)

省電力モードでオーディオ電源をオン/オフにします。

	<p>Display Info (ディスプレイ情報)</p> <p>Display Reset (ディスプレイリセット)</p> <p>Exit Menu (終了メニュー)</p>	<p>すべての設定はこのモニターに関連します。</p> <p>画像を工場出荷時の値に戻します。</p> <p>OSD メインメニューを終了するには、⏪を押します。</p>
--	--	--

 <p>MENU SETTINGS (メニュー設定)</p> <p>Back(戻り)</p> <p>Language (言語)</p> <p>Menu Horizontal Position (メニュー水平位置)</p> <p>Menu Vertical Position (メニュー垂直位置)</p> <p>Menu Timer (メニュータイマー)</p> <p>Transparency (透明化)</p> <p>Menu Rotation (メニュー回転)</p> <p>Menu Lock (メニューロック)</p> <p>Factory Reset (リセット)</p> <p>DDC/CI</p> <p>Exit Menu (終了メニュー)</p>	<p>戻り</p> <p>言語</p> <p>メニュー水平位置</p> <p>メニュー垂直位置</p> <p>メニュータイマー</p> <p>透明化</p> <p>メニュー回転</p> <p>メニューロック</p> <p>リセット</p> <p>DDC/CI</p> <p>終了メニュー</p> <p>⏪を押すと、メインメニューに戻ります。</p> <p>[Languag (言語)]オプションを使って OSD ディスプレイを 5ヶ国語 (English, Espanol, Francais, Deutsch, 日本語)の中からいずれかを選択</p> <p>⏪と⏩ボタンは OSD メニューを左右に動かすときに使用します。</p> <p>⏴と⏵ボタンは OSD メニューを上下に動かすときに使用します。</p> <p>OSD ホールド時間:最後にボタンを押してから、OSD が無効になるまでの時間を設定します。</p> <p>⏴と⏵ボタンを使って 5 秒間隔で 5 秒から 60 秒の間に設定してください。</p> <p>この機能は OSD の背景を不透明から透明までの間で調整します。</p> <p>OSD を 90°ずつ反時計回りに回転させます。ディスプレイの回転に基づいて調整することができます。</p> <p>調整機能へのアクセスを制御します。[Yes (はい)](+) が選択されているときには、どの調整機能も実行できません。メニュー ⏪ ボタンを除き、すべて可能です。</p> <p>メモ: OSD がロックされているときにメニューボタンを押すと、OSD ロックがあらかじめ選択された状態で直接 OSD 設定メニューに入ります。[NO (いいえ)]を選択すると、有効なすべての設定を調整することができます。</p> <p>すべての OSD 設定を工場出荷時の値に戻します。</p> <p>DDC/CI (ディスプレイデータチャンネル/コマンドインターフェース)で、モニターパラメータ(明るさ/色バランス等)をPCのソフトウェア上で調整することが「シャット」を選択すると、この機能を無効にできます。ユーザーがもっとも使いやすいように、また、モニターを最適パフォーマンスにするには、この機能を有効にします。</p> <p>OSD メインメニューを終了するには、⏪を押します。</p>	 <p>言語選択</p> <p>50</p> <p>10</p> <p>20</p> <p>23</p> <p>全部の初期設定にリセットします</p> <p>オン オフ</p> <p>PC を使って画像を調整する機能は無効です。</p> <p>DDC/CI を無効にしますか? いいえ はい</p>
--	--	---

 <p>PIP SETTINGS (PIP設定)</p>	<p>この機能は別の入力ソースから取り込んだ画像が表示されたウィンドウを映し出します。</p> <p>PIP/PBP がオフのときの PIP/PBP サブメニュー メイン入力が VGA/DVI-D 入力の場合</p> <p>PIP/PBP がオフのときの PIP/PBP サブ メインソースがビデオ入力の場合</p>
---	--

			
		<p>PIP/PBP がオンのときの PIP/PBP サブメニュー (メイン入力が VGA/DVI-D 入力の場合)</p> 	<p>PIP/PBP がオンのときの PIP/PBP サブメニュー (メインソースがビデオ入力の場合)</p> 
		<p>メモ: DVI 入力を使用する場合は、コントラスト調整は実行できません。</p>	
	<p>Back (戻り)</p> <p>Mode (モード)</p>	<p>⏪ を押すと、メインメニューに戻ります。</p>	
		<p>2つのモードしかありません: PIP (Picture in Picture) と PBP (Picture By Picture)。 ⏪ と ⏩ を使って参照し、⏪ を使って [Off (オフ)]、[PIP] または [PBP] を選択します。</p>	
		<p>PIP/PBP がオンのときに [SWAP (スワップ)] を選択すると、メインスクリーンと PIP/PBP ウィンドウを切り替えることができます。</p>	
<p>When PIP/PBP activated (PIP/PBP がオンのとき)</p>	<p>PIP/PBP Source (PIP/PBP 入力)</p> <p>PIP Position (PIP 位置)</p> <p>PIP Size (PIP サイズ)</p> <p>PIP/PBP Contrast (PIP/PBP コントラスト)</p> <p>PIP/PBP Hue/Tint (PIP/PBP 色相)</p> <p>PIP/PBP Saturation (PIP/PBP 彩度)</p> <p>Exit Menu (終了メニュー)</p>	<p>PIP の入力信号を選択します (VGA/DVI/S-Video/Composite/Component)。</p>	
		<p>⏪ か ⏩ を使って参照し、⏪ を使って選択します。</p>	
		<p>PIP ウィンドウの位置を選択します。 ⏪ か ⏩ を使って参照し、⏪ を使って選択します。</p>	
		<p>PIP ウィンドウのサイズを選択します。 ⏪ か ⏩ を使って参照し、⏪ を使って選択します。</p>	
		<p>PIP/PBP モードの画像のコントラストを調整します。 ⏪ コントラストを下げます。 ⏩ コントラストを上げます。</p>	
		<p>この機能は PIP/PBP 画像の色を緑または紫にシフトします。これは肌色を調整するときに使用します。</p>	
		<p>⏪ 画像の色を緑にシフトさせます。 ⏩ 画像の色を紫にシフトさせます。</p>	
		<p>PIP/PBP 画像の彩度を調整します。 ⏪ 画像をよりモノクロに近づけます。 ⏩ 画像をよりカラフルにします。</p>	
		<p>OSD メインメニューを終了するには、⏪ を押します。</p>	

OSD 警告メッセージ

PBP を選択すると、モニタが最高品質になるように設定する必要があります。PBP モードで特定の入力ソースを組み合わせると、次のようなメッセージが表示されます。

<p>フルスクリーン PBP にスワップしますか?</p> <p>はい (○) いいえ (+)</p>	<p>または</p> <p>この組合せをサポートする為、メイン入力と PBP 入力をスワップしました。</p>
--	---

モニターが特定の解像度モードに対応していない場合は、次のメッセージが表示されます：

入力信号はサポート範囲以外です
このビデオモードは表示できません
PC のモニター解像度に 1920 X 1200@60Hz を設定してください

このメッセージは、コンピュータから受信している信号にモニターが同期できていないことを示しています。
使このモニターに対応している垂直および水平周波数範囲については、[モニター仕様](#) を参照してください。推奨モードは 1920 X 1200 です。

DDC/CI 機能が無効になる前に、次のメッセージが表示されます。

PC を使って画像を調整する機能
は無効です。
DDC/CI を無効にしますか? いいえ はい

モニターが省エネルギーモードに入ると、以下のどちらかのメッセージが表示されます：

省電モード

[OSD](#) を使用する場合は、コンピュータを起動し、モニターを復帰(ウェイクアップ)させてください。

電源ボタン以外のボタンを押すと、選択した入力に応じて、次のいずれかのメッセージが表示されます：

VGA/DVI-D 入力

PC からの信号なし。
キーボードの任意のキーを押すか、マウスのボタンをクリックするか、
モニターの "Input" ボタンを押すと、他の入力を切り替える。

または

ビデオ入力

ビデオからの信号なし。
モニターの Input ボタンを押すと、他の入力を切り替える。
初期設定にリセットします

PIPモードでは、モニターが選択した第二信号入力を感知しない場合は、OSD スクリーンが閉じられているときに限り、選択した入力に基づいて次のいずれかのメッセージが表示されます。

1. VGA

VGA 入力信号なし

または

2. DVI-D

VGA 入力信号なし

または

3. S-Video

S-Video 入力信号なし

または

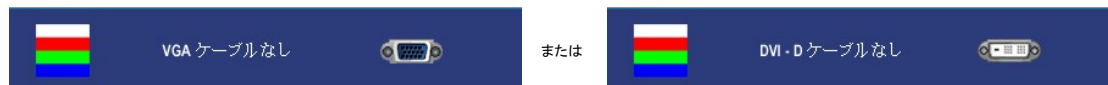
4. Composite

Composite 入力信号なし

または

Comp

VGA か DVI-D 入力が選択されており、VGA ケーブルと DVI-D ケーブルの両方が接続されている場合は、下図のような自由に動かせるダイアログボックスが表示されます。

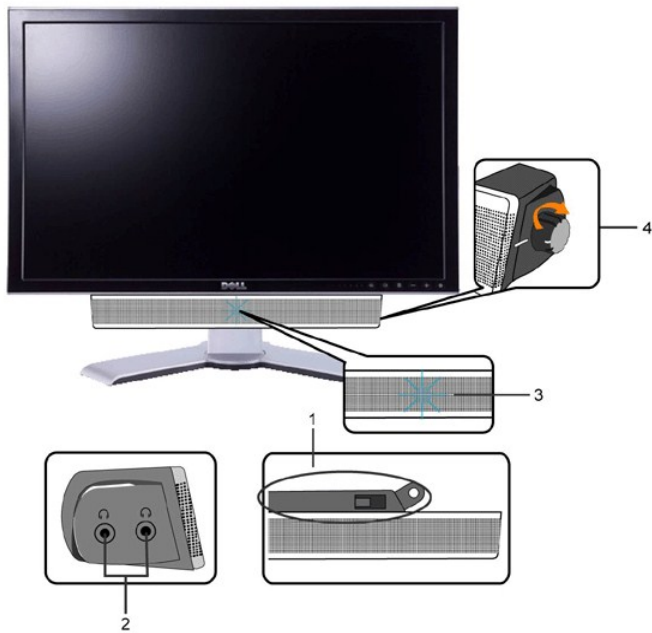


メモ: ケーブルをモニターの入力に戻すと、表示されていた PIP/PBP ウィンドウは消えます。PIP/PBP ウィンドウを再び表示するには、PIP/PBP サブメニューに入ってください。

メモ: PIP/PBP 機能を使うと、二番目のイメージソースから画像を表示することができます。つまり、1 つの PC ソース (D-Sub または DVI) と、もう 1 つのビデオソース (コンポジットか S-video またはコンポーネント) を使って 2 つの PC ソースまたは 2 つのビデオソースから PIP/PBP を行うことはできません。

詳細については、[問題を解決する](#) を参照してください。

Dell™ Soundbar (オプション)を使用する



1. 取り付け機構
2. ヘッドフォンジャック
3. 電源インジケータ
4. 電源 / 音量コントロール

Soundbar のモニタへの取り付け



メモ: Soundbar Power Connector - 12V DC の出力は、オプションの Dell™ Soundbar (サウンドバー) だけに対応します。

注意: DELL Soundbar 以外のデバイスのご使用にならないでください。

1. モニタの背面を表に向け、下のほうにある 2 つのツメを Soundbar の 2 つのスロットにはめ込みます。
2. 固定されるまで Soundbar を左にスライドさせます。
3. Soundbar に DC 電源のコネクタを接続します。
4. 緑色のステレオミニプラグの一方の端を Soundbar の背面に差し込み、もう一方の端をコンピュータのオーディオ出力ジャックへ差し込みます。

[目次に戻る](#)

[目次へ戻る](#)

問題を解決する

Dell™ 2407WFP-HC フラットパネルモニター

- [モニター固有のトラブルシューティング](#)
- [一般的な問題](#)
- [ビデオに関する問題](#)
- [製品固有の問題](#)
- [ユニバーサルシリアルバス\(USB\)に特有の症状](#)
- [Soundbar \(オプション\)のトラブルシューティング](#)
- [カードリーダーのトラブルシューティング](#)

警告: この章の作業を始める前に、[安全のしおり](#) に従ってください。

モニター固有のトラブルシューティング

自己診断機能チェック

お使いのモニターには自己診断機能が搭載されており、モニターが適切に機能しているかどうかを確認できます。モニターとコンピュータが正しく接続されているが、モニター画面に何も表示されない場合、以下の手順でモニターの自己診断を行ってください。

1. コンピュータとモニターの電源をオフにします。
2. 外部電源コードをコンピュータの背面から外します。自己診断機能を正常に実行するため、アナログ (青いコネクタ) ケーブルをコンピュータの背面から外します。
3. モニターの電源をオンにします。

モニターがビデオ信号を感知することができず、正しく作動している場合は、浮動のダイアログボックスが画面 (黒の背景) に現れなければなりません。テストモードの間は、電源の LED が緑のままです。また、選択した入力によって、以下に示されたダイアログの一つが、引き続き画面上でスクロールします。



4. システムが正常に動作している場合でも、ビデオケーブルが外れていたり損傷しているときにはこのボックスが表示されます。
5. モニターの電源をオフにしてビデオケーブルを再び接続し、コンピュータとモニターの電源をともにオンにします。

上記の手順を使用してもモニター画面に何も表示されない場合は、ビデオコントローラとコンピュータシステムをチェックして、モニターが正しく機能しているかどうかを調べてください。

メモ: 自己テスト機能チェックはS-Video、コンポジットビデオ、コンポーネントビデオ等のモードでは使用できません。

一般的な問題

次の表は、発生する可能性があるモニターの一般的な問題についての情報を集録したものです。

一般的な兆候	発生する問題	解決方法
画像なし / 電源 LED オフ	画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none">1 ビデオケーブルがしっかりと接続されているかどうかを確認します。1 コンセントを調べます。1 電源ボタンが完全に押されているかどうかを確認します。
画像なし / 電源 LED オフ	画像が表示されない、モニターの画面が明るくならない。	<ul style="list-style-type: none">1 OSD で明度とコントラストを上げる1 モニターの自己診断機能チェックを実行します1 D-subケーブルのピンが曲がったり折れたりしていないかを確認します
焦点のずれ	画像がぼやけている、はっきりしない、ゴーストが出る。	<ul style="list-style-type: none">1 OSD で自動調整1 OSD でフェーズとピクセルクロックを調整1 ビデオ延長ケーブルを使用しないようにします。1 モニターをリセットします。1 ビデオ解像度を低くするか、フォントサイズを上げます。
画像の揺れ	画像が波打つ、微妙に動く	<ul style="list-style-type: none">1 OSD で自動調整1 OSD で位相とクロックを調整します。1 モニターをリセットします。1 環境状況を確認します。1 別の部屋でテストしてみてください。
画素欠け	液晶画面に黒い点が見つかる	<ul style="list-style-type: none">1 電源をいったん切り、入れ直します1 モニターの動作中に常時点灯する画素が少々存在することがありますが、これは液晶技術で一般的に発生する状況で、故障ではありません。
常時点灯する画素	液晶画面に光る点	<ul style="list-style-type: none">1 電源をいったん切り、入れ直します

	がある	<ul style="list-style-type: none"> 1 モニタの動作中に常時点灯する画素が少々存在することがありますが、これは液晶技術で一般的に発生する状況で、故障ではありません。
明るさの問題	画像が暗すぎるか明るすぎる。	<ul style="list-style-type: none"> 1 [工場設定値にリセット]機能でモニタをリセット 1 OSD で自動調整 1 明るさとコントラストの設定を調整します。
幾何学的歪み	画面が正しく中央に表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 1 [ディスプレイをリセット]機能でモニタをリセット 1 OSD で自動調整 1 センターリングコントロールを調整します。 1 モニターが適切なビデオモードになっているか確認します。 <p>メモ: '2: DVI-D'、周波数、フェーズ(位相)は調整できません。</p>
水平 / 垂直線	画面に 1 本以上の線が表示される	<ul style="list-style-type: none"> 1 [ディスプレイをリセット]機能でモニタをリセット 1 OSD で自動調整 1 OSD でフェーズとピクセルクロックを調整 1 モニタの自己診断機能チェックを実行して、これらの線が自己診断モードでも表示されるかどうかを確認します。 1 ピンが曲がったり破損していないかを確認します。 <p>メモ: '2: DVI-D' では、ピクセルクロックとフェーズの調整できません。</p>
同期の問題	画面にスクランブルがかかる、または小さい傷が見える。	<ul style="list-style-type: none"> 1 [ディスプレイをリセット]機能でモニタをリセット 1 OSD で自動調整 1 OSD でフェーズとピクセルクロックを調整 1 モニタの自己診断機能チェックを実行して、自己診断モードでもスクランブルのかかった画面になるかどうかを確認します。 1 D-subケーブルのピンが曲がったり折れたりしていないかを確認します 1 セーフモードで起動します。
液晶画面の引っかき傷	画面に引っかき傷やしみがあ	<ul style="list-style-type: none"> 1 モニタの電源をオフにし、画面をクリーニングしてください。 1 クリーニングの注意事項については、モニタのお手入れについてをご覧ください。
安全に関する問題	煙や火花が出る。	<ul style="list-style-type: none"> 1 トラブルシューティングの手順は一切行わないで下さい。 1 モニタを交換する必要があります。
一時的に動作しなくなる問題	モニタが正常に動作することもあるが、しないこともある。	<ul style="list-style-type: none"> 1 モニタが正しいビデオモードになっているかどうかを確認します。 1 コンピュータとフラットパネルモニタにビデオケーブルがしっかり接続されていることを確認します。 1 [工場設定値にリセット]機能でモニタをリセット 1 モニタの自己診断機能チェックを実行して、自己診断モードでも一時的に動作しない現象が発生するかどうかを確認します。
色が表示されない	画像に色が付いていない。	<ul style="list-style-type: none"> 1 モニターの自己テスト機能チェックを実行します。 1 ビデオケーブルの両端が正しく接続されていることを確認します。 1 ピンが曲がっていたり折れていたりしていないことを確認します。
正しい色が表示されない	画像の色がよくない。	<ul style="list-style-type: none"> 1 色を[PC カスタム色]か[MAC カスタム色]に変更 1 [PCカスタム色]か[MAC カスタム色]の R/G/B 値を調整 1 カラーフォーマットを"PC RGB"か"YPbPr" (ビデオ/DVI-HD 入力の場合) に変更してください。
長時間モニタ上に表示されたままの静止画を維持	スクリーン上に静止したままの画像に薄いシャドウが表示される。	<ul style="list-style-type: none"> 1 省電力機能を使って、モニタを使用していないときにはモニタの電源を切るように設定する。 1 またはダイナミックに変わるスクリーンセーバを使う。

ビデオに関する問題

一般的な現象	よくあるケース	処置
ビデオが映らない	信号表示が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 1 ビデオ入力の選択を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> o Composite: 黄色の RCA ジャック o S-VIDEO: 一般的には丸型の4ピンジャック o Component (コンポーネント): 赤、蒼、緑の RCA ジャック
DVD 再生時の品質が悪い	画面(ピクチャー)が不鮮明で色が歪んで見える	<ul style="list-style-type: none"> 1 DVD の接続を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> o Composite でピクチャー(画面)が良くなります。 o S-Video でピクチャー(画面)が良くなります。 o Component (コンポーネント): 赤、蒼、緑の RCA ジャック
ビデオのちらつき	ビデオがちらついたり、途切れ途切れに表示されます	<ul style="list-style-type: none"> 1 DVD の接続を確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> o Composite でピクチャー(画面)が良くなります。 o S-Video でピクチャー(画面)が良くなります。 o Component (コンポーネント): 赤、蒼、緑の RCA ジャック 1 DVD プレーヤーが HDCP に対応しているかどうか確認してください。 <ul style="list-style-type: none"> o 非対応プレーヤーの中にはビデオがちらついたり、ラスタ画面になったりするものがあります。

メモ: S-Video、コンボジットビデオ、コンポーネントビデオを選択した場合は、[自動調整](#)ホットキー機能は使用できなくなります。

製品固有の問題

問題	状態	解決方法
画面の画像が小さすぎる	画像が画面中央に表示されるが、表示領域全体に表示されない。	<ol style="list-style-type: none"> 1 [工場設定値にリセット]機能でモニタをリセット
前面パネルのボタンでモニタの調整ができない OSD が画面に表示されない。	OSD が画面に表示されない。	<ol style="list-style-type: none"> 1 モニタの電源をオフにして電源コードを抜き、再びコードを差し込んで電源をオンにします。
モニターが省エネルギーモードにならない。	LED ランプが緑になり、画像が表示されない。[+]、[-]、[メニュー]キーを押すと、[Sビデオ入力信号がありません]または[コンポーネント入力信号がありません]というメッセージが表示されます。	<ol style="list-style-type: none"> 1 マウスを動かすか、コンピュータのキーボードのキーを押します。または、ビデオ再生ソフトを起動します。次に、OSD にアクセスして、オーディオとビデオの両方をオフにします。
画面調節ボタンを押しても、入力信号がない。	LED ランプが緑になり、画像が表示されない。[+]、[-]、[メニュー]キーを押すと、[Sビデオ入力信号がありません]または[コンポーネント入力信号がありません]というメッセージが表示されます。	<ol style="list-style-type: none"> 1 信号ソースを確認します。このとき、マウスを動かすかキーボードのキーを押して、コンピュータが省エネルギーモードに入っていないことを確認します。 1 S-Video ビデオ、コンポジットまたはコンポーネントのビデオソースの電源が入っていて、ビデオメディアが再生されていることを確認します。 1 信号ケーブルが正しく挿入されていることを確認します。必要に応じて、信号ケーブルを外してから接続し直します。 1 コンピュータまたはビデオプレイヤーを再起動します。
モニター画面全体に表示されない。	画像が画面の縦または横いっぱいに表示されない。	<ol style="list-style-type: none"> 1 DVD が標準フォーマットでないことが原因で、モニター画面全体に画像が表示されないことがあります。

 **メモ:** DVI-D モードを選択した場合は、[自動調整](#)ホットキー機能は使用できなくなります。

ユニバーサルシリアルバス(USB)に特有の症状

特有の症状	発生する問題	可能な解決方法
USB インターフェースは、作動していません。	USB 周辺装置は、作動していません。	<ol style="list-style-type: none"> 1 モニタの電源がオンになっているか確認してください。 1 アップストリームケーブルをコンピューターに再接続してください。 1 USB の周辺装置 (ダウンストリームコネクタ) を再接続してください。 1 スイッチを切ってから、再びモニタの電源を入れます。 1 コンピュータを再起動します。
高速 USB2.0 のインターフェースは、遅くなります。	高速 USB2.0 の周辺装置は、動作が遅くなるかまたは全く作動しなくなります。	<ol style="list-style-type: none"> 1 お使いのコンピューターが USB2.0 に対応できるかどうか確認してください。 1 お使いのコンピューター上で USB2.0 のソースを検証してください。 1 アップストリームケーブルをコンピューターに再接続してください。 1 USB の周辺装置 (ダウンストリームコネクタ) を再接続してください。 1 コンピュータを再起動します。

Soundbar (オプション)のトラブルシューティング

問題	状態	解決方法
音が出ない	Soundbarに電源入っていませんか？電源表示がオフです。(DC電源内蔵 2407WFP-HC)	<ol style="list-style-type: none"> 1 Soundbar の電源とボリュームのつまみを時計回りに真ん中の位置まで回してください。Soundbar の前面の電源表示 (緑のLED) が輝いているか確認してください。 1 Soundbar の電源コードがモニターに接続されているか確認してください。 1 モニターに電源が入っているか確認してください。 1 モニターに電源が入っていない場合は、モニターの一般的な問題に関するモニター固有のトラブルシューティングを参照してください。
音が出ない	Soundbar の電源がオンになっていて、電源インジケータも点灯している。	<ol style="list-style-type: none"> 1 オーディオ入力ケーブルをコンピュータの出力ジャックに差し込みます。 1 Windows のすべての音量コントロールを最大に設定します。 1 コンピュータでオーディオ (音楽 CD、MP3 ファイルなど) を再生します。 1 Soundbar の電源 / 音量コントロールを時計回りに回して、音量を上げます。 1 オーディオ入力プラグを掃除して差し込み直します。 1 別の音源 (ポータブル CD プレーヤーなど) を使用して Soundbar をテストします。
音が歪む	使用している音源はコンピュータのサウンドカードである。	<ol style="list-style-type: none"> 1 Soundbar とユーザーの間にある障害物を取り除きます。 1 オーディオ入力プラグがサウンドカードのジャックに完全に差し込まれていることを確認します。 1 Windows のすべての音量コントロールを中間に設定します。 1 オーディオアプリケーションの音量を下げます。 1 Soundbar の電源 / 音量コントロールを半時計回りに回して、音量を下げます。 1 オーディオ入力プラグを掃除して差し込み直します。 1 コンピュータのサウンドカードの問題を解決します。 1 別の音源 (ポータブル CD プレーヤーなど) を使用して Soundbar をテストします。
音が歪む	使用している音源はサウンドカードではない。	<ol style="list-style-type: none"> 1 Soundbar とユーザーの間にある障害物を取り除きます。 1 オーディオ入力プラグが音源のジャックに完全に差し込まれていることを確認します。

		<ul style="list-style-type: none"> 1 音源の音量を下げます。 1 Soundbar の電源 / 音量コントロールを半時計回りに回して、音量を下げます。 1 オーディオ入力プラグを掃除して差し込み直します。
サウンド出力が左右で違う	Soundbar の片側からしか音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> 1 Soundbar とユーザーの間にある障害物を取り除きます。 1 オーディオ入力プラグがサウンドカードまたは音源のジャックに完全に差し込まれていることを確認します。 1 Windows のすべてのオーディオバランスコントロール(L-R)を中間に設定します。 1 オーディオ入力プラグを掃除して差し込み直します。 1 コンピュータのサウンドカードの問題を解決します。 1 別の音源 (ポータブル CD プレーヤーなど)を使用して Soundbar をテストします。
音が小さい	音が非常に小さい。	<ul style="list-style-type: none"> 1 Soundbar とユーザーの間にある障害物を取り除きます。 1 Soundbar の電源 / 音量コントロールを時計回りに回して、音量を最大に上げます。 1 Windows のすべての音量コントロールを最大に設定します。 1 オーディオアプリケーションの音量を上げます。 1 別の音源 (ポータブル CD プレーヤーなど)を使用して Soundbar をテストします。

カードリーダーのトラブルシューティング

注意：メディアに情報の書き込み、または読み取りが行われている間にデバイスを外すと、データが失われたり、メディアの故障の原因となります。

問題	原因	解決方法
ドライブが指定されない場合 (Windows XP only)	ネットワーク・ドライブ名の衝突	<ul style="list-style-type: none"> A. Windows のマイ・コンピューターのメニューで右クリックして管理を選択します。コンピューターの管理メニューで、ディスク管理を選択します。 B. 右画面のドライブ・リストの中で、リムーバブル・デバイスで右クリックをしてドライブ名及び経路変更をクリックします。 C. 変更をクリックして、下位画面でリムーバブル・デバイスに対するドライブ名を指定して、対応ネットワーク・ドライブに割り当てられていないドライブ名を選択します。 D. OK をクリックして、次の画面で OK をもう一度クリックします。
ドライブは指定されるが、メディアが読み取れない場合	メディアを再度フォーマットしなければなりません。	エクスプローラを開いて、ドライブを選択してから、当該ドライブで右クリックをして、メニューでフォーマットを選択します。
書き込み、または削除する途中でメディアが排出される場合。	<p>次のエラーメッセージが表示されます。「ファイルまたはフォルダのコピーエラーです」</p> <p>次のエラーメッセージが表示されます。書き込む途中で「フォルダ(フォルダ名)、またはファイル(ファイル名)が書き込めません」、または削除する途中で「フォルダ(フォルダ名)、またはファイル(ファイル名)が削除できません」のようなメッセージが表示される場合には同一フォルダ、またはファイル名を書き込んだり、削除することができません。</p>	<p>再度メディアを挿入し、再び書き込みまたは消去を行ってください。</p> <p>同じ名前を持つフォルダまたはファイルを書き込む、または消去するために、メディアをフォーマットしてください。</p>
	書き込む途中で PopUp Windows が消えたとしても、LED がまだ点滅するうちにメディアを排出すれば、メディアに対する実行を完了することはできません。	同じ名前を持つフォルダまたはファイルを書き込む、または消去するために、メディアをフォーマットしてください。
データの記録、またはフォーマットができない場合。	書き込みプロテクト・スイッチを使用。	メディアの書き込み保護スイッチがロックされていないことを確認してください。

[目次へ戻る](#)

[目次へ戻る](#)

調整可能なモニタースタンドを使用する

Dell™ 2407WFP-HC フラットパネルモニター

- [スタンドの取り付け](#)
- [ケーブルをまとめる](#)
- [傾き、回転、高さを利用する](#)
- [スタンドを外す](#)

スタンドの取り付け



1. スタンドを平らな場所に設置します。
2. モニタ背面の溝と上スタンドの2個のタブを合わせてください。
3. モニタの取り付けエリアがスタンドにしっかり収まるように(ロックされます)モニタを下げてください。

ケーブルをまとめる

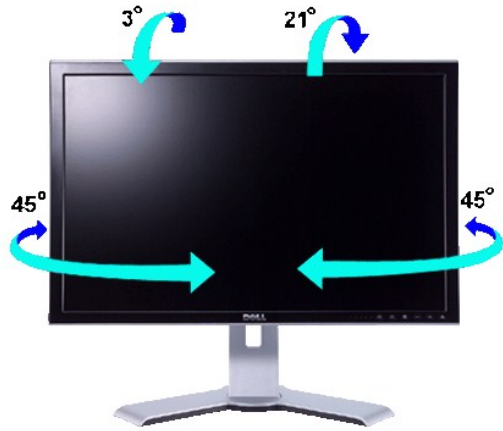


モニターとコンピュータに必要なケーブル類をすべて接続したら([モニターを接続する](#)を参照してください)、上図に示すようにケーブル整理用ホルダーを使ってケーブルを整理してください。

傾き、回転および高さを利用する

傾き/回転

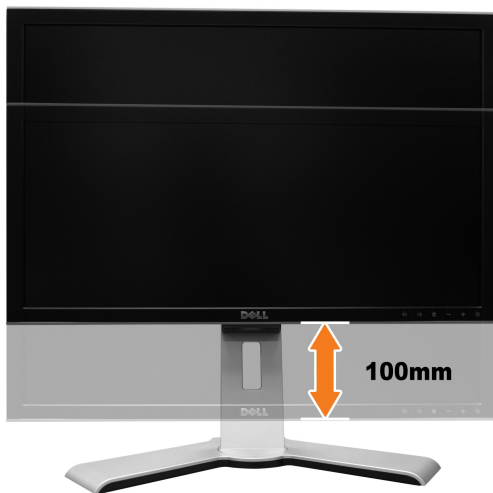
ディスプレイ回転台が付いているので、モニターを上下左右に動かして画面の角度を調節することができます。



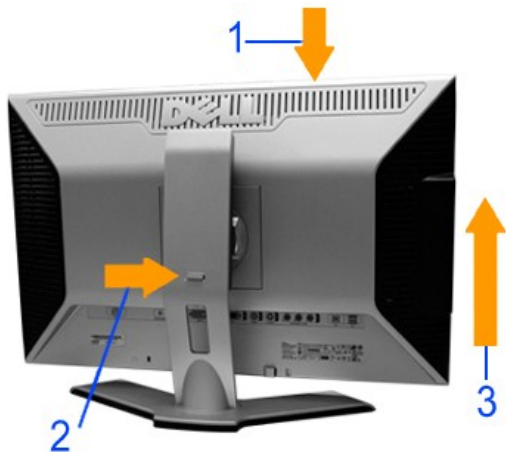
メモ: モニターが工場から出荷されるときにはスタンドは取り外されて、伸ばした状態で出荷されます。

縦に伸ばす

スタンドはロック/解除ボタンを使って最大100mmまで縦に引き伸ばすことができます。



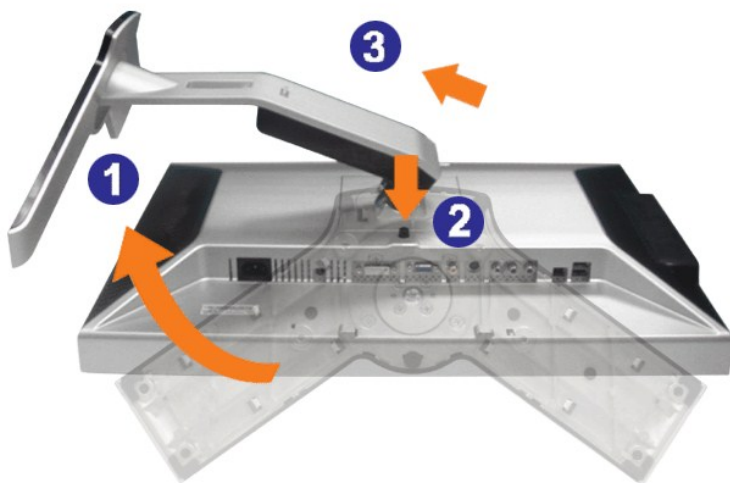
メモ: 下方位置にロックされている場合、モニターを押し下げます。スタンド下部後方の[ロックダウン/解除]ボタンを押して、モニターをロック解除します。モニターを持ち上げ、スタンドを必要な高さに伸ばします。



➡ **注意:** モニターを他の場所に移動したり動かしたりする前に、モニタースタンドがロックされていることを確認してください。ロックするには、パネルがカチッとロックされるまで、パネルの位置を下げます。

スタンドを外す

モニタパネルを柔らかい布かクッションの上に置いた後、モニターロック/解除ボタンをしばらく押したままにするとスタンドが外れます。



📌 **メモ:** スタンドを取り外す際LCDスクリーンにキズがつかないように、モニタの周りにはモノを置かないでください。

[目次へ戻る](#)